

水稲栽培管理情報（カメムシ防除の徹底について）

営農経済部 米穀課



ホソハリカメムシ

アカスジカスミカメ

アカヒゲホソミドリカスミカメ

アカヒゲホソミドリカスミカメが南信地域の4圃場、中信地域の8圃場で捕獲された。また、ホソハリカメムシが南信地域の3圃場、中信地域の3圃場で捕獲された。

斑点米カメムシ全体でみると、平均捕獲頭数は南信地域で平年と比べて多く、特に上伊那管内では平年のおよそ3倍であった。また、発生地点率については南信地域、中信地域ともに平年に比べて高かった。

（長野県病害虫防除所）

調査場所により発生の多いカメムシの種類が異なりますが、上伊那管内でも増加傾向であり出穂10日後の防除が必須です。また、出穂10日後以降もホソハリカメムシ（乳熟期を過ぎても被害があります）の発生が多い圃場では必ず防除しましょう。

また、デジタルメガフレア箱粒剤を使用している方も出穂期以降のカメムシ発生量が多い場合は、追加防除が必要になりますので、出穂10日後位に必ず圃場の見回りをお願いします。

☆防除剤については下の表を参考にしてください（いずれの剤もカメムシに注意して散布してください）

◎薬剤が吸収されてから効果が表れるタイプの剤

薬剤名	10a 当たり使用量	使用時期	注意事項
スタークル粒剤	3 kg	出穂7日後 ～10日後	成分は2～3日で稲に吸収されるので効きが早いです。ミツバチに影響あり。
スタークル豆つぶ	250 g	出穂7日後 ～10日後	成分は1～2日で稲に吸収されるので効きが早いです。ミツバチに影響あり。

◎直接カメムシに散布し利かせるタイプ

薬剤名	10a 当たり使用量	使用時期	注意事項
キラップフロアブル	1,000～2,000 倍液 薬液 60～200 ℓ	出穂10日後	ミツバチに影響があるので周囲の状況を確認すること。
ダントツ水溶剤	4,000 倍液 薬液 60～150 ℓ	出穂10日後	ミツバチに影響があるので周囲の状況を確認すること。